

登録コード	A3592434	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	田中 沙智	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している					免疫学や食品の機能性に関する基礎的な知識・実験手法を習得し、問題解決能力を養い、自身の研究成果についてプレゼンテーションができるようになる。		
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					国際的な視野に立って最新の食品免疫学に関する情報を習得し応用させることで、地域の課題・問題を解決するための研究遂行力を習得できるようになる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					免疫学や食品の機能性に関する基礎的な知識・実験手法を習得し、問題解決能力を養い、自身の研究成果についてプレゼンテーションができるようになる。		
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					国際的な視野に立って最新の食品免疫学に関する情報を習得し応用させることで、地域の課題・問題を解決するための研究遂行力を習得できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。							
(5)授業計画	研究に関する計画、中間報告、最終報告についてスライドの作成 研究発表と質疑応答 学会での研究成果の発表							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。							
(7)成績評価の基準	研究発表に関するスライド作成，説明のしかた，質疑応答の技術について評価します． 卓越している：分かりやすいスライドを作成し，説明も適切である．質問に対しても適切に応答することができた． かなり上にある：分かりやすいスライドを作成し，適切な説明をすることができた． やや上にある：自ら考えたスライドを作成し，説明を行った． その水準にある：何とかスライドを作成し，説明を行った．							
(8)事前事後学習の内容	事前学習：発表する研究成果について，スライドや説明文をあらかじめ準備しておく．また，必要な基礎知識や関連する事項について自主的に学習し，理解を深める． 事後学習：自分の担当回で質問を受けた内容や理解が不十分だった部分について学習する．また，他の人が発表したプレゼンテーションについてその内容に疑問点があった場合には自主的に調べる．							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答							
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室訪問および電話・メール相談に随時に対応します． 研究室：C103室 e-mail：tanakasa@shinshu-u.ac.jp							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）							